図書館でできることQ&A!

Q.図書館を使うには？

A. 「利用カード」があれば、市内の全ての図書館で貸出ができます。
カード発行には生徒手帳・学生証等、住所が書かれている証明書を持ってきてください。

Q.何冊まで借りられるの？

A. 本・雑誌は20冊　CD・DVDはあわせて５点　語学CDは３点まで
２週間借りられます。

Q.貸出以外にできることは？

A. 貸出中の資料の予約や、図書館資料を使って調べものができます。
図書館の職員に気軽に相談して下さい。

パスワードで使えるサービス！

超 便利！

「初期パスワード」は、図書館カウンターで利用カードを提示すると発行できます。

★電子図書サービス
自分のスマホやパソコンで、図書館の電子図書を読めます！

★本の予約や、貸出の延長
インターネットで、図書館の本を予約したり、貸出中の本を延長したりできます。

★読書ノート
図書館内にある「読書ノートシール印刷機」で、今借りている本の書名・著者名等が記載されたシールを印刷できます。
図書館で配っている「読書ノート」に貼って、自分だけの読書記録をつけてみませんか？

7・8月の図書館カレンダー

7 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

X
中央図書館の休館日（第3金曜日）

X
地域図書館・分室文庫の休館日

～ 図書館の本などは、返却期限を守って大切に使いましょう～

借りている本やDVDなどの返却が**15日以上遅く**なると、それを返すまでは以下のことができませんので、借りる時や返却前によく確認してください。

①貸出　②予約　③借りている本などの延長

中学生・高校生 の みなさん へ

川口市立図書館から
ティーンズの本棚
2023

下の二次元コードを読み込むと、
このリーフレットがインターネットでみられます。

⇦ 二次元コードを読みとってね！

☆図書館からみなさんへ、おすすめの本を紹介します！

こちらで紹介している本は、市内の各図書館で夏休み中に展示・貸出をおこないます。貸出されていても大丈夫！「予約申し込み」をすれば、市内の各図書館どこにでも届きます。ぜひ、お気に入りの１冊を見つけてくださいね。

中央図書館	前川図書館	新郷図書館	横曽根図書館	戸塚図書館	鳩ヶ谷図書館	芝園分室
☎048 (227)7611	☎048 (268)1616	☎048 (283)1265	☎048 (256)1005	☎048 (297)3098	☎048 (285)3110	☎048 (269)2241

★休館日 や 開館時間は、それぞれの 図書館にお問合せください。

図書館の ホームページ にも のっています。
https://www.kawaguchi-lib.jp/

※ 芝北文庫、南鳩ヶ谷文庫、移動図書館 の お問合せは、中央図書館へ

中学生・高校生のみなさんに読んでほしい本を紹介しています。
川口市立中央図書館と地域図書館で展示をしています。

ここで紹介した著者の作品には、他にもおもしろいものがたくさんあります。
おめあての本が借りられているときは、予約をするか、他の作品を読んでみて!!

シリーズ マークは、続きや
シリーズがある小説です。

『青の刀匠』
天沢夏月/著　ポプラ社 刊

高校2年生のコテツは、轟々と火が燃える火事の中から救出されたが、炎を恐れるようになってしまう。
そんな彼が、炎との戦いともいえる「刀鍛冶」と出会う。
主人公の心の成長とともに、前に進もうという勇気をもらえる1冊。

『穴』 シリーズ
ルイス・サッカー/作
幸田敦子/訳　講談社 刊

無実の罪で矯正施設に入れられ、灼熱の砂漠で毎日毎日穴掘りをさせられるスタンリー。なぜ穴を掘らなくてはいけないのか？ この施設には、大きな秘密が隠されていた！とことんついてない少年の、とびきりの友情物語。

『源平の風』 シリーズ
斉藤洋/作　偕成社 刊

仙人の弟子となった狐の白狐魔丸（しらこまるまる）は、人間に姿を変え、歴史上の様々な事件に立ち合う。源氏と平氏が争っていた時代、白子魔丸は、源義経と行動を共にすることになるが、義経は次第に兄・頼朝に疎まれていく…。
白子魔丸が見た、人間の世界とは？

『夜のピクニック』
恩田陸/著
新潮社 刊

全校生徒が夜を徹して80キロの道のりを歩きとおすというイベント「歩行祭」。甲田貴子は高校生活最後のこの行事に、ある誓いを抱いて参加する。

『おれのおばさん』
佐川光晴/著　集英社 刊

父親が横領の容疑で逮捕され、母親と離れて札幌のおばさんの元に身を寄せることになった陽介。型破りなおばさんや児童養護施設の仲間、さまざまな人たちと関わりながら、たくましく生活していく彼の姿に、すがすがしい気持ちになれる本。

『マイスモールランド』
川和田恵真/著　講談社 刊

同タイトルの映画の、監督本人によるノベライズ。
舞台はここ、川口市。幼いころから川口で育ったクルド人の女子高生が主人公です。今、川口には多くの外国籍の方が住んでおり、その中には、さまざまな困難を抱えながら生活している方もいます。

『あした、弁当を作る。』
ひこ・田中/著　講談社 刊

学校に行く日は、お母さんが自分に弁当を持たせてくれる。当たり前だと思っていたことだけど、今はなぜだかむず痒い。自分でお弁当を作れば、小さな日常の何かが変わるだろうか。中学生男子の、芽生えたての「自立」を描いた本。

『手で見るぼくの世界は』
樫崎茜/作
酒井以/装画・挿絵
くもん出版 刊

視覚支援学校に通う佑と双葉は、この春から中1に。しかし双葉は、小学校卒業直前に道路で心ない言葉を浴びせられた事件をきっかけに、一歩も外に出られずにいた。そんな双葉を心配する佑もあることで悩み…。それぞれの葛藤を乗り越える物語。

『かわいい子ランキング』
ブリジット・ヤング/作
三辺律子/訳　ほるぷ出版 刊

ある日生徒たちのスマホに一斉に送られてきたのは、学年の「かわいい子ランキング」。結果は、誰もが憧れのソフィーが2位で、1位は地味で目立つことが嫌いなイヴ。誰が送ったか分からないランキングに皆が苦しみ、傷ついている中、ランキングを書いた“犯人”をさがすことに。

『ダーウィンと 出会った夏』 シリーズ
ジャクリーン・ケリー/作
斎藤倫子/訳
ほるぷ出版 刊

1899年テキサスの田舎町。キャルパーニアは母からピアノ、裁縫など、お嬢様としての教育を受ける。しかし、祖父と生物の観察や実験をすることにより、科学の世界にめざめていく。

『園芸少年』
魚住直子/著
講談社 刊

高校に入学して早々、なりゆきで園芸部に入ってしまった篠崎。不良っぽい大和田と、いつも頭に段ボールをかぶっている庄司と共に、学校に花を咲かせていく。

『海辺の王国』
ロバート・ウェストール/作
坂崎麻子/訳
徳間書店 刊

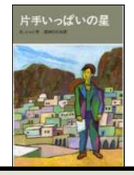
空襲を生き延びたハリーは、ドンという名の犬と出会う。ハリーはドンとともに、たくさんの出会いを繰り返し、やがて自分の王国となるべき場所を見出すことになる。

『うたうとは 小さないのち ひろいあげ』 シリーズ
村上しいこ/著　講談社 刊

いじめを受け不登校になった綾美。それに責任を感じて、心を閉ざした親友の桃子。短歌をつくる「うた部」が舞台。部員達は、自分の心、言葉と格闘して、うたをつくっていく。

『片手いっぱいの星』
ラフィク・シャミ/作
若林ひとみ/訳　岩波書店 刊

1960年代のシリア。日記を書くことを決意した”ぼく”は、友人のサリームじいさんの話や、家族やガールフレンドのこと、そして政府に反抗して新聞をつくる日々などをつづっていく。不穏な社会の中でも、明るくたくましく生きる姿が描かれている。



『くちびるに歌を』
中田永一/著
小学館 刊

五島列島の中学校を舞台に、合唱コンクールに向けての練習の日々を描いた青春小説。悩み、対立、恋…。多くの困難を乗り越えて、いざステージへ。仲間、恋人、未来の自分に、『手紙』に込めた思いは届くのか。

『ルリユールおじさん』
いせひでこ/作　講談社 刊

大切にしていた植物図鑑のページがバラバラになってしまい、ソフィーは、本のお医者さん（ルリユール）を訪ねる。ソフィーの目の前で、図鑑はどんどん修復され、世界でひとつだけの美しい本に生まれ変わってゆく。

『竜馬がゆく』1～8
司馬遼太郎/著
文春文庫

西郷隆盛、勝海舟、近藤勇、高杉晋作…、と多くの幕末志士がいますが、その中で もっとも後世に影響を与えた人物が坂本竜馬。
大作ではありますが読んでみてはいかかでしょう。

『海底二万里』上・下
ジュール・ヴェルヌ/作
私市保彦/訳　岩波書店 刊

未知の潜水艦にとらわれた博物学者のアロナックス教授、その使用人のコンセイユ、銛打ち漁師ネッド・ランド。潜水艦の船長はネモ(誰でもない)と名乗る謎の男だった。ネモが地上の生活を捨てた経緯は？そして、何をくわだてようとしているのか？
「SFの父」と称される ヴェルヌの、古典的な名著。

『バレエダンサー』上・下
ルーマ・ゴッデン/作
渡辺南都子/訳　偕成社 刊

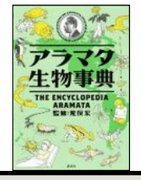
姉の付き添いでバレエ教室に行った日からバレエの魅力に取り付かれた弟・デューンは、家族の反対にあいながらもバレエにのめりこんでゆく。一方、美人で体型にも恵まれ両親から溺愛されている姉・クリスタルは、いつのまにか弟がライバルになっていることに気づく。
つらくても苦しくても、バレエを愛する姉弟の成長物語。

『ミライの授業』
瀧本哲史/著
講談社 刊

誰もが1度は抱く、「どうして学校に行かなくてはならないんだろう」という思い。それに対し、著者が導き出した答えは、学校で「魔法の基礎」を学ぶため。未来を生きるみなさんが、新しい魔法を見つけ出すための1冊です。

『アラマタ生物事典』
荒俣宏/監修
講談社 刊

ナメクジ、ゴキブリ、ウジムシなどの嫌われものも、工業や医療の進歩の役に立っていた！　この世に存在するあらゆるものの効能を探る新しい視点の生物事典。



『本当に「英語を話したい」キミへ』
川島永嗣/著
世界文化社 刊

サッカー日本代表のゴールキーパー川島選手は、英語をはじめ、イタリア語、オランダ語を習得している。彼は、語学を勉強する中で、どうやって挫折を乗り越えたのか、どんな勉強を続けているのか。川島選手から”やる気”がもらえる本。

『世界を平和にする第一歩』
河出書房新社/編
井手上漠/[ほか]著
河出書房新社 刊

平和って何？30歳以下の19人が、それぞれが思う平和や身近にできることについて考えた1冊。作家だけでなく、起業家や芸能人など、様々な分野の人々が短くそれぞれの思いをまとめているので、興味のあるページから平和を考えるきっかけに。

『アフターマン』（児童書版）
ドゥーガル・ディクソン/著
G.Masukawa/訳
学研プラス（Gakken）刊

5000万年後の世界はどうなっているだろう。もしかしたら人類は生き残っていないかもしれない。人類なき後、地球を支配するのはどんな生物だろう。太古の恐竜のような動物？それとも…？

この本には、大人版(ダイヤモンド社 刊)もあります。もっと詳しく読みたい人は、そちらもどうぞ！